



学校だより

温 寧 の 丘

北海道小平高等養護学校

令和 8 年 5 月 15 日

第 1 号 (通算 120 号)

芽吹きの時を迎え

北海道小平高等養護学校校長 野 本 雅 明

五月を迎え、学校周辺の木々も淡い黄緑色の若葉を芽吹かせています。厳しい冬の寒さに耐え、暖かな春の日差しを受けて一斉に芽吹く様からは、歓喜の春を迎えた喜びが感じられる気がいたします。今はまだ弱々しく見える若葉も、やがて葉を広げ、繁茂の夏、実りの秋を経て、厳しい冬を越え、再び芽吹きを春を迎えます。こうした脈々と続く「生命のサイクル」の中で、少しずつ根を伸ばし、幹を太くしながら成長していく姿からは、確かな「生命（いのち）の力」を感じます。それは子どもたちの成長や学校の営みにも重なり、気の引き締まる思いもいたします。ここ小平も、生命（いのち）の芽吹きの季節、歓喜の春を迎えております。

さて、令和 8 年度の学校生活もスタートし、早くも 1 か月が過ぎました。今年度入学した 9 名の新入生たちも、新しい学校での学習や初めての寄宿舍生活など、環境の大きな変化の中にあります。当初は少し心配もしておりましたが、その心配も杞憂であったようで、すっかり学校にも馴染み、先輩たちとともに笑顔で登校する姿からは、生徒一人一人の確かな「生きる力」を感じております。

こうした生徒たち一人一人の「生きる力」を確信しながら、日々の学習活動はもとより、学校生活や寄宿舍でのさまざまな経験・体験を通して、社会の中で自立し、主体的に生きていく力を着実に育ててまいります。その実現に向けまして、教職員が心を一つにし、子どもたちの指導・支援に当たってまいりますので、引き続きのご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

また、保護者の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。地域の皆様におかれましても、子どもたちの安全や成長を支えていただき、深く御礼申し上げます。生徒たちの芽吹きと成長を、学校・家庭・地域が手を取り合いながら支えていきたいと考えております。どうぞ、令和 8 年度の小平高等養護学校も、よろしくお願いいたします。